

石狩川上流・天塩川上流水防連絡協議会  
第1回 天塩川上流減災対策委員会 議事要旨

日 時：平成28年5月31日（火） 13:30～15:00

会 場：グランドホテル藤花 2階 大雪の間

参加者：別紙による

【議事】

- (1) 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく取組について
- (2) 天塩川上流減災対策委員会 設置趣旨
- (3) 石狩川上流・天塩川上流水防連絡協議会 規約改正及び減災対策委員会の設置要領について
- (4) 現状の水害リスクや取組状況について
- (5) 減災のための目標（案）について
- (6) 今後のスケジュール

【議事要旨】

- ・水防連絡協議会規約改正と減災対策委員会設置要領について確認。
- ・現状の水害リスク情報や取組状況を共有。
- ・5年間で達成すべき目標および目標達成に向けた”3本柱”の確認。
- ・今後の具体的な取組項目、フォローアップ方法の検討依頼。
- ・適時、幹事会を開催して議論のうえ、第2回石狩川上流減災対策委員会（8月下旬を予定）を開催し、避難、水防、排水活動等、今後5年間を目処に取り組む「地域の取組方針」を策定することを確認。
- ・毎年、減災対策委員会を開催し、取組項目の実施・検討状況について、フォローアップを実施していくことの確認。

【主な意見】

（旭川地方気象台）

- ・防災気象情報の改善に努めるとともに、的確な情報を提供し、今後も地域の防災に協力していきたい。

（上川総合振興局）

- ・現状における水害リスクや取組状況を関係機関で情報共有することは重要。

（北海道警察旭川方面本部）

- ・長大な天塩川流域において、効率的な支援をいかに行うかが重要。関係機関としっかり連携をとり、地域防災に努めていきたい。

(陸上自衛隊第2師団)

- ・ 平時からのリスクの共有・認識が重要。  
地域の安心安全に協力していきたい。

(士別市)

- ・ 市の上流には岩尾内ダムがあり安心感をもっているが、水防意識を高め、情報共有及び、周辺地域との協力が必要だと考えている。

(名寄市)

- ・ 近年、局地的豪雨が増加傾向に有り、減災対策委員会で情報共有し、防災意識を高めることはとても重要であり、良い機会である。  
6月に名寄市で開催される総合水防演習で、更なる地域の防災意識向上に期待。

(和寒町)

- ・ 日頃から災害に備えるためにも、減災対策委員会による情報共有は重要である。  
H26年の洪水を踏まえ、減災の一環として田んぼダム対策に取り組んでいく。

(剣淵町)

- ・ 流域が連携し、減災対策に取り組むことは重要。  
インターネット等の水位情報にはタイムラグがあるので、職員による現地観測を実施し、迅速な情報収集を行っている。

(下川町)

- ・ H26年の洪水で国道が3時間通行止めになった。この間に火災や救急が発生することは無かったが、これらを想定した体制づくりが重要だと考えている。  
また、行政告知端末を全戸に設置済であるが、インターネット等のIT端末を使用できる住民は10~15%程度であり、そのような状況を踏まえた防災訓練等を考えたい。

(美深町)

- ・ 減災対策委員会による情報共有は重要である。  
・ 内水氾濫が長期化する傾向に有り、旭川開発建設部の排水ポンプや投光器等による対応や、ホットラインによる情報提供に感謝。

(音威子府村)

- ・ 村の近傍観測所(茨内)で、氾濫危険水位等の設定がされていない。  
・ 地すべり等による河道閉塞も含め、減災のための取組について議論してほしい。  
・ 防災から天塩川の魅力アップにもつなげていけたらと思う。

(中川町)

- ・ 近年の気象状況等を踏まえ、日頃から避難勧告の発令について考えている。  
・ 引き続き、情報提供等よろしくお願ひしたい。

**石狩川上流・天塩川上流 水防連絡協議会**  
**第1回 天塩川上流減災対策委員会**  
**出席者名簿**

所 属	役職名	氏 名	備 考
旭川開発建設部	部長	伊藤 丹	
旭川地方气象台	台長	磯部 英彦	
上川総合振興局	局長	渡辺 明彦	
北海道警察 旭川方面本部	本部長	池田 康則	代理：警備課長 野呂 孝幸
陸上自衛隊 第2師団	師団長	住田 和明	代理：第2師団 司令部 第3部長 力久 建
士別市	市長	牧野 勇司	代理：技監 工藤 博文
名寄市	市長	加藤 剛士	
和寒町	町長	奥山 盛	
剣淵町	町長	早坂 純夫	
下川町	町長	谷 一之	
美深町	町長	山口 信夫	
音威子府村	村長	左近 勝	
中川町	町長	川口 精雄	